

みんなの保育大会議!

- 今のほいくとすこし先のほいく -

2023年

8月

場所:長野県立大学
(三輪キャンパス)



長野県立大学
THE UNIVERSITY OF NAGANO

5日(土) 6日(日)

14:00-14:30

【活動報告】

学生ボランティア
「ぐるんぱ」

14:30-16:00

【特別講演】

「子どもの主体的な表現活動
をどう導くか」

花輪 充

(東京家政大学教授)

10:00-11:30

【シンポジウム】

「主体的・対話的な学びを
深める実習指導」

太田光洋 (本学教授・学科長)

渡邊 望 (本学准教授・実習担当)

小林音羽 (学校法人大森学園

登戸幼稚園 保育教諭)

※各プログラムの詳細は
裏面をご覧ください

お申し込み



申込締切

2023年7月31日(月)

参加費無料!

【対象者】 保育に興味のある方ならどなたでもご参加いただけます

【定員】 両日とも150名 (Zoomでの参加可)

【問い合わせ】 minnanohoikudkg@u-nagano.ac.jp

みんなの保育大会議!

- 今のほいくとすこし先のほいく -

2023年8月5日(土)・6日(日)

場所: 長野県立大学三輪キャンパス

5日(土)

14:00-14:30

【活動報告】

学生ボランティア「ぐるんぱ」

長野県立大学こども学科の学生が、学内で地域の親子が自由に遊びに来ることのできる環境を整備し、子育て支援の取組「親子のひろば」の企画・運営を主体的に行っています。その活動の内容や広がりの一部を報告します。

14:30-16:00

【特別講演】

「子どもの主体的な表現活動をどう導くか」

花輪 充

(東京家政大学教授)

子どもの主体的な学びが重視されるようになる中、園でのさまざまな行事が見直されるようになってきています。しかし、特に生活発表会等で行われる劇などの指導においては「練習の成果を見せる」表現指導から脱却し、子どもの主体的な活動とすることに難しさを感じている保育者も多いと思われます。

保育者は、遊びのなかで行われる子どもの主体的な表現を支えるために、子どもの表現衝動を生む環境構成に工夫を凝らすことや、子どもの表現に対して受容的・共感的姿勢を保つ必要があります。こうした課題をふまえ、これからそのような表現の場を園でどのように生み出せばよいか、どう学生を導けばよいか。子どもの遊びや演劇表現の視点から、現場経験も豊富な東京家政大学の花輪充氏に伺います。

6日(日)

10:00-11:30

【シンポジウム】

「主体的・対話的な学びを深める実習指導」

太田光洋 (本学教授・学科長)

渡邊 望 (本学准教授・実習担当)

小林音羽 (学校法人大森学園登戸幼稚園 保育教諭)

保育者をめざす学生が保育現場において保育者の仕事やその役割の実際について学び、必要なスキルやさらなる学習課題を明確にするために保育現場での実習は重要な学びの機会です。しかし、実習指導の内容や方法について学ぶ機会はほとんどなく、それぞれの園や担当者の経験則に基づいて行われていることが少なくありません。本シンポジウムでは、いま志向される保育や学生の学びという観点から、実習日誌や指導計画を含め、これからの実習指導のあり方について具体的な提案を試みます。

お申込み ※ 参加費無料・Zoomでの参加可

QRコードまたは下記 URL よりお申込みください。

<https://forms.gle/oRAdWAqKnyzwmw8577>

申込締切

2023年7月31日(月)



問い合わせ先

長野県立大学こども学科 みんなの保育大会議実行委員会
〒380-8525 長野県長野市三輪 8-49-7

TEL.026-217-2240 (代)

Email: minnanohoikudkg@u-nagano.ac.jp

「みんなの保育大会議」とは?

日本保育学会の第78回の研究大会が、長野県で令和7年5月に対面開催(会場: 長野県立大学)される予定です。この「みんなの保育大会議」は、そのプレ企画として、長野県の保育・幼児教育のさらなる充実を目指す交流の場づくりとして進められています。令和5年と6年にわたって、シンポジウムや特別講座・ワークショップなどを年数回実施し、集った皆で考え、共に対話する機会をつくります。

今回は、11月19日(日)に「いい育児の日応援企画(仮題)」を長野市、長野県との連携・協力により実施する予定です。